

# 特許権・商標権及び著作権判例の解説

令和3年12月9日

弁護士 飯村 敏明

ユアサハラ法律特許事務所

## ◇ 特許権・商標権関係 裁判例

- 第1 審決取消訴訟の訴えの利益
- 第2 進歩性の判断(その1)  
引用発明の適格性 プリミジン誘導体事件における第2の論点
- 第3 進歩性の判断(その2)  
———顕著な作用効果の有無についての判断基準
- 第4 均等に関する新たな判示  
———知財高裁及び最高裁の各判断
- 第5 侵害訴訟における「無効の抗弁」と「訂正の再抗弁」  
———ナイフ加工装置最高裁判決とシートカッター最高裁判決
- 第6 PBPクレーム最高裁判決とその後の裁判例
- 第7 発明該当性  
———ステーキ提供システム事件
- 第8 訴えの利益、裁判管轄とインターネット
- 第9 サポート要件(36条6項1号)
- 第10 進歩性
- 第11 明確性
- 第12 均等
- 第13 サイトブロッキングを巡る論点
- 第14 商標法における排他権及び差止請求権付与の構造

## ◇ 著作権関係 裁判例

- 第1 著作権紛争の実情等
- 第2 侵害訴訟について——カラオケ法理の拡大
- 第3 著作権の制限規定について